

事業所名

デイサービスにじのこ給田

支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念		支援や配慮を必要とする人と その家族の生活を支えていくことを第一に ひとりひとりの可能性を信じ 日々の暮らしの中で個性に働きかけをして 人への愛着感や信頼感 そして自信・意欲を得られるよう支援します。 本人や家族にとって 出会いや繋がりの場となり 地域の中で自分らしく暮らせるよう 共に考え歩んでいきます。								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学んだことを確かなものにし、放課後の地域での生活を豊かにすることを目指しています。 ・体験や遊びを通じて他者とのかかわりや言葉、興味・関心等を育みます。 ・学校や家庭とは違った空間で、他児や職員と楽しみながら安心した時間を過ごしています。 ・ひとりひとりの状況に応じて生活上に必要な支援を行っています。 ・家庭や療育機関、学校と連携し、子どもと家庭を支援します。 								
営業時間		平日	14 時	00 分	から	18 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
		土曜日 学校休業日	12 時	45 分	から	18 時	45 分	まで		
		事業所の定める 学校長期休業日の平日	10 時	00 分	から	16 時	00 分	まで		
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と相談しながら個別の目標を設定し、活動の中に組み込みながら発達を促しています。 ・身辺自立においては、職員は見守り、「待つ」ことを大事にしながら、スモールステップで持てる力を伸ばせるよう促しています。 ・子どもたちが安心して取り組みやすいように、プログラム全般において導入の部分を統一させたり素材の置き場を共通させたりと、流れの構造化を図っています。 <主な活動プログラム>自由あそび・外あそび・あつまり・エアロビ・運動あそび・音楽あそび・アート								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的刺激・聴覚的刺激を与えながら利用者の好きなものや得意なことを盛り込み、個性を「強み」にして自信を増やせるよう取り組んでいます。 ・自由あそびや運動あそびでは、遊びを通じて感覚統合の発達に重要な「やりたい」気持ちを引き出し、トランポリンやブランコ・室内遊具等を使用しながら、バランスの取り方や身体の使い方、感覚のコントロール等を身に付けることを促しています。 <主な活動プログラム>自由あそび・外あそび・エアロビ・運動あそび・アート・音楽あそび・リズムあそび								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・リラックスできる居場所を提供し、見通しを持って行動できるよう、絵・写真カード等の視覚支援ツール等を利用しながら利用者の主体性・自発性を引き出す支援をしています。 ・ゲームの中で色の識別や数の計測に取り組む等、個々の関心や課題に応じた内容を取り入れています。 ・応用行動分析の視点を取り入れ、プログラムに反映させています。 ・集中が難しいお子さんには壁向きで作業に取り組んでもらう等、個々の特性に配慮しながら、本人が力を発揮して行動しやすい環境を整えています。 ・参加の多様性を認め、苦しさを感じる場合はまずは見ることから始めたり代替の手段を提供したりと無理なく行動できるきっかけをつくり、段階的に移行できるように努めています。 <主な活動プログラム>アート・音楽あそび・リズムあそび・運動あそび・集団あそび								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・自由あそびの中で場を共有する機会を設け、おもちゃや絵・写真カード等の視覚支援ツールを利用しながら利用者の主体性・自発性を引き出す支援をしています。 ・職員や他児とのかかわりの中でコミュニケーションスキルを学べるように支援しています。 ・素材をもらう場面等で「ください」と自分なりの方法で伝える、できたときには報告をする等、子どもたちが発語ややりとりにつながる場面を設定しています。本人からの発信を見逃さないようにし、できたことをフィードバックして自信に繋げることを大切にしています。 <主な活動プログラム>自由あそび・集団あそび・音楽あそび・運動あそび・アート								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や他児とのかかわりの中で集団生活のルールを学び、社会性を育めるよう支援しています。 ・アートでの共同制作や道具を受け渡す場面の設定等、自分から他者とかかわりを持ちにくいお子さんが無理なくかかわりを持てるような機会を設定しています。一緒に取り組む中で活動の楽しさを味わえるように支援し、協力して片付けをする等、自然とやりたくなるような雰囲気づくりに心がけています。 ・楽しんで活動に参加することを大切にしつつ、活動の中で順番を守ることや適切な距離の取り方を意識すること等、ルールやマナーを意識する機会を組み込んでいます。 ・リーダー的な役割や道具を配る係等、役割を設定し、できたことをフィードバックして自信に繋げることを大切にしています。 <主な活動プログラム>集団あそび・音楽あそび・運動あそび・アート								
家族支援	本人からの発信や本人が興味を持っていることを見逃さず、活動等に取り入れ、面談時や来降所時に保護者ににじのこでの様子を伝えるようにします。本人の発達状況や特性に向けた相談援助や、家族の子育てや兄弟姉妹に関する困り事、レスパイトや就労の都合等の預かりニーズに対応するための支援を行います。				移行支援		インクルージョンの視点から、まずは事業所内で年齢や障害の異なる他児と一緒に活動や遊びを通して、お互いの強みや困っている所を理解できるよう支援します。学校や地域で暮らす多様な他児とも繋がりがながら自信を持って日常生活を送れるよう、社会性やコミュニケーションスキルに関する個別プログラムを取り入れながら支援していきます。			
地域支援・地域連携	地域の社会資源を増やせるよう、事業所や学校等の見学を積極的に行っていきます。地域の機関と連携して相談や情報交換を行っていきます。				職員の質の向上		法人内の内部研修や現場に即した内容の外部研修・ケア会議の充実を図り、支援技術の向上を目指していきます。			
主な行事等	高校卒業生を送る会（3月後半） 特別な行事としては設定していませんが、子どもたちの興味も反映させながら、普段の活動の中で季節に応じた内容を取り入れています。 <例>水あそび・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・節分等									